

校内研修推進計画

(1) 研究主題

「生き生きと伝え合う力を育む授業の工夫」
—— 交流活動を通して ——

(2) 主題設定理由

子どもたちを取り巻く環境はめまぐるしく変化し、子どもの価値観や行動形態にたえず影響を及ぼしている。地域社会での人とのかかわりや、家族との交わりさえも希薄になっている子どもたちは、「知識はあるが生活経験に乏しい。」「譲り合ったり、我慢したりすることなどの人間関係づくりが苦手である。」といわれている。

そのような社会情勢の中で、子ども達がたくましく生きていくためには、一人一人が自分で考え、自分で行動するということが基本になる。そのためには、「自ら学び、自ら考え、実行する力」、つまり「生きる力」を身につけることが重要である。さらに、子ども一人一人が自らの感動や体験、自らの思いや願いを生かし、話題や題材に主体的に関わり、判断したり豊かに想像したり表現できる感性豊かな子の育成が望まれる。

本校では、平成16年度より3年間、県教育委員会より「幼稚園との連携事業」の指定研究を受け「個のよさを伸ばし感性豊かにたくましく生きる子の育成」の研究主題に基づき、「子どもの発達や学びの連続性」を捉えた実践を通して、子どもたちが人やものと主体的に関わり、自ら学び・考え・実行する力や、自他を尊重し思いやる心を育成することをめざした研究に取り組んできた。

その成果として、幼児への接し方や言葉づかいなどにも気をつけ、相手のペースに合わせたり、わかりやすく伝えたりする思いやりの心が育ち、子どもたち自身が主体的にアイデアを出して活動に取り組んだことが挙げられる。しかし、課題として、自分の思いや考えをまとめて相手にわかりやすく伝えようとする力がまだ不十分であるという実態もわかってきた。

そこで、今年度は、児童一人一人が自分の思いや考えに自信を持って、自分らしく表現できることをめざした授業づくりの研究に取り組み、学校教育目標の「自分から課題を見つけ、問い続ける子」に迫りたいと考えた。そして、児童一人一人が自分の考えを持ち、お互いの思いや考えを聞き合う交流活動を通して、自分の考えや思いを「生き生きと伝え合う力」を育むことができると考え、本研究テーマを設定した。

(3) 研究のねらい

児童一人一人が基礎・基本を確実に身に付け、それを基に、児童がお互いの思いや考えを出し合って深め合う交流活動を通して、生き生きと伝え合う力を育成するために、授業の工夫改善を理論的、実践的に研究する。

(4) 研究仮説

授業作りにおいて、授業のねらいを明確にして、めあての設定、学習過程の工夫改善をすることによって、基礎・基本を定着させることができるであろう。

交流の場において、児童一人一人の多様な考えや相互に聞き合う関係を尊重することによって、児童がお互いの思いや考えを出し合って深め合う交流活動を通して、生き生きと伝え合う力を育むことができるであろう。

(5) 研究方針

校内研修によって全職員の共通理解を深め、組織的な研究を全校体制で進める。

校内研修は原則として毎月第1・第3木曜日と夏季休業中に実施し、計画に沿って進める。
また、必要に応じて臨時に行う。

日々の実践を大切に、全学年が検証授業・授業研究会・公開授業を通して、研究を深める。

今年度の検証授業は、2学年・4学年・6学年が行い、1学年・3学年・5学年と検証授業以外の学級は、公開授業を行う。

理論研究会や全体授業研究会では、講師招聘して指導助言を受け、研究を深める。

毎月第2火曜日を推進委員会として位置付ける。また、必要に応じて臨時に行う。

推進委員会は校内研究のための企画・運営について検討し、各学年部との連絡調整の機関とする。

校内研修と市学力向上対策推進との関連を次のように位置付ける。

ア 校内研修は、市学力向上対策推進協議会の学校教育部会の一端を担う。

イ 市学力向上対策実践報告会において、公開授業を行う。

ウ 平成19年度は諸見小学校が、コザ中ブロック学対実践報告会の世話係及び会場校になっている。

(6) 研究内容

児童の実態を踏まえ、学年の課題の明確化と効果的な指導方法の工夫・改善

個に応じた指導方法の工夫・改善

教育機器などの実技研修及び授業活用

(7) 研究組織

役割分担・研究計画、内容、集録の作成に関する企画と運営

研 修 部 会		主 な 活 動 内 容
校内研推進委員会		研究主題・研究計画，組織運営の立案，推進にあたる 全体研究会の運営・計画・記録，各部会への連絡調整をする 研究集録の原案作成および，各学年部のまとめの世話役をする 研究発表会の企画・立案・検討，推進にあたる 児童の実態調査や資料・文献等の収集・紹介を行う
全 体 会		全体的な計画や基本的な内容について共通理解を図る 検証授業および授業研究会を実践する 理論研究や実践上の諸問題について協議し，共通理解を図る 全体研修のまとめと研究集録の作成をする
学 年 部 会		教材研究をし，指導助言を受けて指導案を立て授業実践をする 授業実践を通しての反省，資料の整理をする 各学年を中心に研究を進め，必要に応じて隣学年部会を持つ
研 修 部 会	人 権 教 育 部	人権教育について
	体 育 部	心肺蘇生法，水泳実技講習会等の計画・運営
	情 報 教 育 部	パソコン実技研修，ホームページの作成
	平 和 教 育 部	平和学習（フィールドワーク），平和学習に関する資料の展示
	総 合 部	幼小連携における交流計画，英会話授業計画の作成，総合・生活科に関すること
環 境 整 備 部		校内環境美化の推進と学習環境の整備

(8) 研究計画

月 日	曜日	研修形態	研 究 内 容	
4月 3日	火	職 員 会 議	校内研修全体計画の提案	
4月10日	火	推進委員会	校内研修計画の確認、各研修部会の計画	
4月25日	水	職 員 会 議	研究授業の日程決定 「夢・にぬふぁ星プラン 」、「沖縄市学対推進要項」と諸見小学校学対推進計画の確認	
5月17日	木	全 体 研	心肺蘇生法	
5月31日	木	全 体 研	理論研修（指導主事招聘）	
6月 7日	木	全 体 研	授業参観と理論研修 アンケート調査について	
6月12日	火	推進委員会	検証授業に向けての確認 実態把握	
6月21日	木	全 体 研	検証授業（4学年 教科 国語）授業研究会 （指導主事招聘）	
7月 5日	木	全 体 研	夏季休業中の研修計画の確認 研修部会の活動	
7月5日	木	全 体 研	検証授業（2学年 教科 特活）授業研究会 （指導主事招聘）	
夏 休 み 期 間 中	7月23日	月	全 体 研	夏季休業中の研修計画の確認、研修部会の活動
	7月24日	火	全 体 研	理論研修、各種研修部会による研修
	7月25日	水	全 体 研 (校外学習)	九州算数数学教育研究大会
	7月26日	木	全 体 研 (校外学習)	九州算数数学教育研究大会
	7月27日	金	学 年 研	学年部会の活動 教材研究
	8月 7日	火	全 体 研	コンピュータ研修会
9月 6日	木	学 年 研	学年部会の活動	
9月11日	火	推進委員会	検証授業に向けての確認。	
9月20日	木	全 体 研	検証授業（6学年 教科 道徳）授業研究会 （指導主事招聘）	
10月 9日	火	推進委員会	研究集録のまとめ及び公開授業に向けての確認	
10月18日	木	学 年 研	公開授業に向けての取り組み	
11月 8日	木		公開授業に向けての取り組み	
11月20日	火	全 体 研	沖縄市学力向上対策実践報告会（公開授業）	
12月 6日	木	学 年 研	学年の実践のまとめ	
12月20日	木	推進委員会	児童の変容について（実態調査）	
1月10日	木	全 体 研	児童の変容について（実態調査）のまとめ	
1月15日	火	推進委員会	校内研修の評価・反省について	
1月31日	木	学 年 研	成果と課題についてのまとめ （学年および全体に関すること）	
2月12日	火	推進委員会	校内研修の成果と課題についてのまとめ。	
2月21日	木	全 体 研	次年度校内研修計画案の検討	
3月 6日	木	全 体 研	次年度校内研修計画案の提案。	
3月11日	火	推進委員会	次年度校内研修計画案の修正・検討	